

市民クラブ 米永 あつ子 議員

1 安心安全な街づくりについて

- (1) 大型無人機「シーガーディアン」MQ-9Bの試験的運用計画が防衛省から発表された。しかし、未だ米軍機MQ-9の事故原因説明もないまま次の計画が進められようとしている中で、新たな計画によりどのようなリスクが予想されるのか等、自治体と政府との協議もないまま進められる今の防衛計画について見解を示されたい。
- (2) 2024年1月1日に発災した能登半島大地震を受け、本市の防災対策について
 - ① 気付いた課題はどのようなものがあるか示されたい。
 - ② 一人でも多くの人に防災意識と知識を持ってもらうための地域防災リーダー育成事業の現状はどうか。
 - ③ 防災担当職員を増員し防災担当職員に内閣府の防災スペシャリスト養成研修を受講させる考えはないか。
 - ④ 現在指定されている避難所以外に住民の一番身近な各町内会公民館を耐震化し避難所にする考えはないか。
 - ⑤ 災害時に生活インフラの中でも最も必要な水道だが、水道管の老朽化が進んでいる。管路更新率をせめて全国平均に近い数字まで改善していくべきだと思うが見解を示されたい。

2 図書館の指定管理制度について

- (1) 図書館の指定管理制度導入から16年が経過しようとしている。図書館は地元の文化を担う公共の施設である観点からも次期指定管理の公募に向け地元の団体が参加できるよう仕掛け作りができないものか問う。
 - ① 指定管理者制度の金額、内容、必要人員について示されたい。
 - ② 市が考える『あるべき図書館の姿』はどのようなものか述べられたい。

- ③ 利益を生まない図書館の指定管理者制度の効果をどのように把握し、分析しているのか示されたい。
- ④ 働く人が意欲を失うような官製ワーキングプアが発生しやすいと言われる指定管理者の就労体系だが、従業員の就労状況や労働条件をどのように把握するのか。
- ⑤ 地元指定管理料を落とし、市内でお金が回る仕組みを造るべきだと考えるが当局の考えを示されたい。

3 第五航空艦隊司令部壕跡の活用について

- (1) 本市には戦争遺跡が多く残されており、特に鹿屋基地の中心から東北東に1キロ余り離れた台地の縁に1945年（昭和20年）に設置された第五航空艦隊司令部壕跡がある。危険であるという理由で貴重な戦跡が未整備のまま放置されている現状もあり、私有地ではあるが約200メートルが埋め戻されずに現存しているこの構造物を市として活用する取組はできないか見解を示されたい。

4 持続可能な循環型社会の形成実現に向けて

- (1) 持続可能な循環型社会形成を推進するためにごみの資源化・減量化の推進を謳っているが、本市で排出されるごみの総量の約78%が可燃ごみであり、うち約40%が生ごみである。2030年度CO₂排出量46%削減に向け、生ごみの堆肥化に畜産環境センター跡地を活用し、強力に推し進めるべきと考えるがどうか。
- (2) 市長は、令和6年度施政方針等で「環境保全型農業の普及促進について」有機JAS取得面積の拡大を促進するため、新規取得に係る申請料等の一部を支援するとともに、化学肥料等の使用を抑制した農業者団体を支援し、化学農薬・肥料の使用低減と環境に配慮した農業を推進するとしている。本市の具体的推進計画を示されたい。
- (3) 1月15日に開催された有機農産物の生産・利用拡大に向けた地域間連携『オーガニックビレッジ』に参加した感想を述べられたい。

5 オーガニック（有機農業）の推進について

(1) オーガニック推進の体制づくりについて

- ① 行政、J A、生産者団体による有機農業推進協議会の設置に向けた進捗状況を示されたい。
- ② 待ちの姿勢から積極的に押し進めていく考えはないか。
- ③ 市民へのオーガニックに対する啓発活動を押し進める考えはないか。

(2) 安心安全なオーガニック給食の推進について

- ① 保護者の皆さんに対してオーガニック給食の是非について意識調査を実施する考えはないか。
- ② オーガニック給食を進めるに当たり生産物納入数が問題視されているが、各生産者団体に対し、現在どの位のロットを揃えられるか確認することから問題解決の糸口が見つかると思うが、生産者にアンケートを実施する考えはないか。

(3) 手始めに吾平学校給食センターからパイロット的に始めることは可能だと考えるが見解を示されたい。